

(本発表のお問い合わせ先)
美術館美術課
広報資料取扱主任：牧野裕二
電話：087-823-1711

【市長定例記者会見】

高松市美術館 特別展

「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展」を開催します！



(右上) 天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》(部分) 1986年 ©1986 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli
(右下) ルパン三世 PART 2《アルバトロス、翔ぶ》(部分) 1980年 原作：モンキー・パンチ ©TMS
(左) もののけ姫《シシ神の森(5)》(部分) 1997年 ©1997 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, ND

アニメーション美術の創造者

『天空の城ラピュタ』(1986)、『火垂るの墓』(1988)、『もののけ姫』(1997)。誰もが知る国民的アニメーション映画で美術監督を務めた山本二三(やまもと にぞう、1953～2023)は、長崎・五島列島に生まれました。

1978年、24歳の若さで『未来少年コナン』の美術監督に抜擢され、以降、確かな画面構成と細部に至るまでの精緻な描き込みにより、高畑勲・宮崎駿の両監督を支え、日本のアニメーションを世界に誇る文化へと押し上げました。その才能は後に続く若い映画監督たちをも惹きつけ、細田守監督の『時をかける少女』(2006)、新海誠監督の『天気の子』(2019)においても多くの人の記憶に残る背景画を描き貢献しました。

本展では、初期から晩年までの手描き背景画に加え、制作の過程で生み出された未公開の美術設定やイメージボード、制作用具など約220点を紹介し、山本二三の詩情豊かな背景美術の世界に迫ります。

添付資料：プレスリリース詳細

A4 チラシ

リンク：https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/museum/takamatsu/event/exhibitions/exhibition_2025/exhibition_2025/ex_20260131.html

本展のみどころ

1 重要な初期作品の背景画や『天気の子』を含む70点もの新資料を展示！

『ルパン三世』『未来少年コナン』『名探偵ホームズ』など、新たに発見された重要な初期作品の背景画に加え、2019年公開の『天気の子』を含む70点の新資料を展示します。

2 多様なテーマ構成で山本二三の創作活動を紹介！

本展覧会は「冒険」、「日常」、「雲」、「森や自然」、「郷里」をキーワードに5つの章で構成。その世界観と結びついた展示空間で、初期作品から最新作まで約220点もの幅広い作品を紹介することで、来場者の鑑賞体験をより充実したものにします。

3 アニメーション背景美術の制作現場を体験！

山本二三が使っていた画材のほか、制作過程や技法を解説したパネル展示によりアニメーション背景美術の制作現場を体感できます。

4 鑑賞体験を拡張する映像の上映とフォトスポットの設置！

「作品細部の拡大」や「焦点への誘導」に着目した映像展示を行います。

また、来館時に記念撮影が可能な『時をかける少女』の《踏切》や、『もののけ姫』の《シン神の森（6）》のフォトスポットで記念撮影ができます。



時をかける少女《踏切》2006年
©「時をかける少女」製作委員会 2006



もののけ姫《シン神の森（6）》1997年
©1997 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, ND

基本情報

展覧会名：特別展「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展」

展覧会英名：YAMAMOTO Nizo Master of Animation Art

会 期：2026年1月31日(土) ～3月29日(日)

会 場：高松市美術館（香川県高松市紺屋町10-4）

休 館 日：月曜日(ただし、2月23日(月・祝) 開館、2月24日(火) 休館)

開館時間：9：30～17：00 (ただし、金・土曜日は19：00閉館／入室は閉館30分前まで)

観 覧 料：一般1,200円(960円)、大学生600円(480円)、高校生以下無料

※()内は前売、20名以上の団体料金

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)は入場無料

※前売券は、高松市美術館1階受付、高松市役所生協、ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて1月30日(金) まで販売。(詳細な販売開始時期は各店舗へお問い合わせください。)

主 催：高松市美術館

協 力：絵映舎、日東電工

企 画：神戸新聞社

展示構成

第1章：冒険の舞台 冒険心を掻き立てる物語世界

『天空の城ラピュタ』からロールプレイングゲームに至るまで、「冒険」の舞台のための背景描写を集め、山本がいかにして空想上の物語を具現化してきたのかをご覧ください。

第2章：そこにある暮らし 一瞬の場면을強く印象づける写実以上の表現

『じゃりん子チエ』、『火垂るの墓』、『時をかける少女』の3作品を取り上げ、現実世界の「日常」が舞台となった作品の背景描写を振り返ります。

第3章：雲は語る 「いつか見た、あの空」…どこか記憶を揺り動かす雲の表現

アニメファンの間で「二三雲」「ラピュタ雲」とよばれ、山本の代名詞となってきたのが雲の描写です。それぞれの作品から「雲」を描いた背景を集めるとともに、『天気の子』の背景原画を紹介します。

第4章：森の生命 写実性を超えた神聖さをたたえる深い森と木々

『もののけ姫』で山本が手がけた「シシ神の森」。その表現は、写実性を超えた神聖さをたたえ、映画の品格を決定づけたといっても過言ではありません。「森」や「自然」を題材とした作品を手がかりに、山本の描写に迫ります。

第5章：忘れがたき故郷 背景美術の仕事で培った技術を活かして描かれた故郷の風景

美術監督としての第一線を退いた後、山本は生まれ故郷である五島列島を描きはじめました。アニメーションにおいてさまざまな場面を描いてきた山本が「郷里」に向ける穏やかなまなざしを紹介します。

関連イベント

記念講演会1「山本二三 絵にかけた人生と情熱」

「新・山本二三展」出品作品について、画像や映像を用いて解説します。

日時：1月31日（土）13：30～15：00（13：15開場）

講師：山本鷹生（絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長）

会場：1階講堂 定員：150名（無料／当日10：00より1階受付にて整理券配布）

記念講演会2「記憶色の背景 山本二三の美術」

山本二三が美術監督として仕事を共にした3人のアニメーション映画監督（宮崎駿、高畑勲、細田守）の絵コンテを見比べながら、それぞれの作品において山本がどのような背景を作り出していたのか、背景美術独特の画面構成や演出技法を交えて紹介します。

日時：2月28日（土）13：30～15：00（13：15開場）

講師：久慈達也（本展監修者、DESIGN MUSEUM LAB代表、京都芸術大学准教授）

会場：1階講堂 定員：150名（無料／当日10：00より1階受付にて整理券配布）

ギャラリートーク

展覧会の見どころや展示作品について解説します。

・学芸員 2月1日（日）14：00～

・ボランティアcivi 会期中の日曜・祝日（ただし2月1日を除く）各14：00～

会場：2階展示室 ※要観覧券・申込不要

ワークショップ「ゾートロープを作ろう」

くるくる回すと絵が動いて見えるゾートロープを作り、アニメーションの基本的な仕組みを学ぶことができます。

日時：2月1日（日）10：00～11：30

講師：山本鷹生（絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長）

会場：3階講座室 定員・対象：小学3生以上・20名（事前申込制・抽選） 受講料：500円

申込方法：12月20日（土）～1月13日（火）の間に、館内HP内の「新・山本二三展関連ワークショップ申込フォーム」より申込。

エントランス・ミニコンサート「アニメを彩る歌」

日時：3月14日（土）13：30～14：00

出演：森美由紀（ソプラノ）、藤田哲史（フルート）、大山まゆみ（ピアノ）

会場：1階エントランスホール ※無料・申込不要

大人のためのアートで遊ぼう！

カードゲームなどをしながらアートを楽しみます。一緒に、美術館で「見る・考える・話す・聴く」を体験しましょう。美術が大好きな方も苦手意識をもっている方でも参加大歓迎です。

日時：2月11日（水・祝）、2月23日（月・祝）いずれも10：00～12：00

場所：3階講座室 講師：当館学芸員 定員：各8名程度（電話にて受付順） ※無料

ふらっとアート「チャレンジ！セルアニメ」

パズルなどを使って、セルアニメのコマづくりが体験できます。

日時：展覧会会期中の開館時間いつでも 会場：中2階「こども+（プラス）」 ※無料・申込不要

広報画像リスト

- ・使用目的は本展のご紹介のみに限ります。
- ・使用後、画像データは速やかに破棄してください。画像データの保存および第三者への提供は禁止します。
- ・トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更、二次使用は禁止します。
- ・掲載する際は、各画像のキャプションを必ず記載してください（下記参照）。
- ・掲載紙は、展覧会担当者宛に1部ご送付をお願いします。



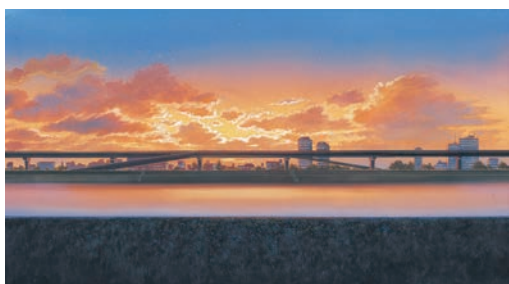
①



②



③



④



⑤



⑥

- ① もののけ姫《シシ神の森（５）》1997年 ©1997 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli, ND
- ② 天空の城ラピュタ《荒廃したラピュタ》1986年 ©1986 Hayao Miyazaki/Studio Ghibli
- ③ ルパン三世 PART 2《アルバトロス、翔ぶ》1980年 原作：モンキー・パンチ ©TMS
- ④ 時をかける少女《夕暮れ（１）》2006年 ©「時をかける少女」製作委員会 2006
- ⑤ 時をかける少女《踏切》2006年 ©「時をかける少女」製作委員会 2006
- ⑥ 天気の子《気象神社絵画・天井画》2019年 ©2019「天気の子」製作委員会

プレスリリース お問い合わせ 高松市美術館 Tel 087-823-1711、087-823-1730

展覧会担当：毛利直子 naoko_5570@city.takamatsu.lg.jp 広報担当：福田千恵 a160159@city.takamatsu.lg.jp

(本発表のお問い合わせ先)

市民課

広報資料取扱主任: 國宗 郁代

電話 087-839-2282

【市長定例記者会見】AIオペレーターによる電話対応の実証事業開始について

電話対応における市民サービスの向上と業務の効率化を目指して、株式会社グラファー(本社:東京都渋谷区、代表取締役:石井 大地)のAI技術を使った電話対応システムの実証事業を、市民課にて実施します。

1 目的

「市役所に電話してもなかなかつながらない」、「夜や土日でも問い合わせたい」という声にお応えするため、夜間・休日を含め24時間対応可能な自由対話型のAIオペレーターによる電話対応の有用性や、簡易な質問への電話対応に係る職員の業務負担を軽減し、窓口対応や、より専門的な質問や相談に対応できる体制を構築することで、市民サービスの向上を図ります。

2 実証事業の概要

・実施期間

令和8年2月2日(月)から3月1日(日)まで

・内容

AIオペレーターが電話で自動応答し、対応できない内容は市民課代表番号から転送して、職員が対応します。(市民課代表番号への転送は窓口開庁時間内のみとなります。)

・事業者

株式会社グラファー

AIオペレーターを使用した感想や御意見はこちら



3 AIオペレーター専用電話番号

AIオペレーター専用の電話番号を新たに設定します。(従来の電話番号は引き続き利用可能)

実証事業中の電話番号

050-1726-9691(夜間・休日を含め24時間対応)

(本発表のお問い合わせ先)

政策課

広報資料取扱主任：好井 智哉

電話：087-839-2135

【市長定例記者会見】

「たかまつ政策アイデアコンテスト2025」コンテスト決勝の開催について

(T) たくさんの夢を (K) カタチにして (M) 未来を創ろう！ (T) たかまつで！

本市では、若者が理想とするまちづくりを政策アイデアとして提案することで、若者の本市への理解を深め、愛着を醸成することなどを目的として、「政策コンテスト」を開催しております。

参加者には、「理想とするまちづくり」や「地域課題」などについて政策アイデアを提案いただき、コンテスト形式で表彰いたします。

今年度は、B Bスクエアにてコンテスト決勝を開催する予定としておりますので、是非お越しいただき、参加チームのフレッシュで柔軟なアイデアをご覧ください。

1 開催日時

日時：令和8年1月24日（土）13時00分～17時00分

2 開催場所

B Bスクエア

※香川県高松市サンポート2番1号 高松シンボルタワー タワー棟 5階（e-とびあ・かがわ内）※入口は4階

3 参加チーム

高校生2チーム、高専生1チーム、大学生1チーム（ほか、出場辞退1チーム）

4 開催内容

政策アイデアのプレゼンテーション、表彰など

5 審査員

高松市長を始め、大学や金融機関等から就任予定

6 観覧

コンテスト決勝は有観客といたします。

席数の調整のため、「事前申込制」といたしますので、観覧ご希望の方は、下記よりお申込みください。

※当日の飛び込み参加も大歓迎です。

事前申込みはこちら：<https://questant.jp/q/XSXN34OT#page1>

■添付資料

・実施要領



«事前申込はこちら»